

教科	科目名		
国語	古典		
科目の種類	単位	形態	講座定員
2年エリア必修	2	通年	40

科目について	科目の概要	<p>2学年生徒対象のエリア必修科目である。上代から近世に及ぶ我が国の古典文学作品ならびに中国の古典作品(文学・歴史・思想)を読み味わいながら、作品に表れた人間、社会、自然などに対する思想や感情を読み取り、我が国及び中国の文化と伝統について理解を深めるための科目である。</p> <p>また、基礎的な語彙力・文章構造の理解力(文語文法・基本句形)・文章の読解力・文学史の変遷を総合的に身につけることを目的とする科目でもある。</p>	選択条件	人文科学エリア必修科目	
	年間の授業内容	<p>■1学期(中間テスト 18 時間)</p> <p>&lt;古文&gt;</p> <p>1. 笑話「しろくは二十四」「飛び入りの来ぬうちに」</p> <p>2. 説話「鼠ども談合のこと」(『伊曾保物語』)「大江山」(『十訓抄』)</p> <p>■1学期(期末テスト 12 時間)</p> <p>3. 古文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 随筆「ゆく河の流れ」(『方丈記』)</li> <li>・ 随筆「静かに思へば」「仁和寺の法師」(『徒然草』)</li> </ul> <p>4. 漢文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 故事「矛盾」(『韓非子』)、「杞憂」(『列子』)</li> </ul> <p>■2学期(中間テスト 21 時間)</p> <p>5. 古文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 軍記物語「仲綱」「敦盛最期」(『平家物語』)</li> </ul> <p>6. 漢文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 唐詩「涼州詞」、「絶句」、「送友人」、「黄鶴樓」</li> </ul> <p>■2学期(期末テスト 24 時間)</p> <p>7. 古文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 百人一首</li> <li>・ 日記「門出」「阿倍仲麻呂」(『土佐日記』)</li> </ul> <p>8. 漢文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 記事文「桃花源記」論説文「雑説」</li> </ul> <p>■3学期(学年末テスト 30 時間)</p> <p>9. 古文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歌物語「初冠」、「梓弓」(『伊勢物語』)</li> <li>・ 俳諧</li> </ul> <p>10. 漢文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 論語</li> </ul>	授業形態	<p>古文や漢文の独特の言い回しに慣れるため、教員による範読後、適宜音読や暗唱をさせる。</p> <p>また、古今異義語等の重要語句の確認、文法的事項、文学史的な位置づけを確認しながら読解力を身につける。</p>	
		教科書・使用教材	<p>教科書:『高校生の古典』(明治書院) 117 明治 古典 038</p> <p>副教材:「新国語要覧」(大修館書店)を使用。</p>	評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年間5回の定期考査により読解力・知識・教養の程度ならびに教授内容定着の達成度合いをみて評価する。</li> <li>・ 日常的な授業への取り組みの姿勢についても、平常点として評価の材料とする。</li> </ul>
		評価の方法	<p>定期考査の素点による評価。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常的な取り組み(授業ノート整理を含む)を平常点として算出したものによる評価。</li> <li>・ 出欠状況による評価。</li> </ul>	備考	